

さんぺい輝枝



ニュース 92号

「9月入ったら回答」は、
今迄、安倍総理・環境省から
回答なし27年10月8日現在

第3弾 指定廃棄物 (放射性廃棄物)について

前回の91号さんぺい輝枝ニュースに、さんぺい輝枝独自のはがきアンケートや電話アンケートで、多くの方が、環境省の言う千葉市中央区蘇我町の東京電力千葉火力発電所に放射性廃棄物を埋め立て処分したいとの事に、異議を唱える方が、花見川区だけの調査にも関わらず多くいらっしゃる事がわかりました。中には、民主党やさんぺい輝枝が、反対してばかりでは困るではないかのご意見もありました。

自民・公明・民主党千葉市議会議員で決議文を採択

しかしながら千葉市議会では全自民党議員・全公明党議員・全民主党議員が賛成し、環境省に対し、6月の議会の冒頭で決議文を採択していますので、改めてご報告申し上げます。この件は中央区ということもあり、花見川区から離れていますので、実感が沸きにくいというような事もあるのかなと感じます。

しかしながら、花見川区に埋め立て処分にふさわしい場所があれば、花見川区の課題になりうることも念頭に置きながら、取り組む必要があると感じました。*これまで千葉市議会では安倍総理の下で働いている環境省のスーパー官僚の皆さんが、千葉市議会の要請により、千葉市議会に2回も説明に来るという異例の状況でした。申し入れをしていただいた千葉市議会議長・副議長に感謝申し上げます。他市他県ではどの議会も環境省から説明に来るということはなかったと聞いております。更に他市他県では、多くが国の土地を活用するということや、人里離れた所が埋め立て処分場として選定しているということもあり、市民説明会は開かれるものの、地方議会として関与せず。

くまがい市長・町内自治会連協も独自の取り組み

当初、千葉市議会議員全員が対象の環境省の説明会から始まり、千葉市議会での決議文を賛成多数で可決され、環境省に議長・副議長（我が会派選出議員）が揃って提出に向き、先陣を切って取り組みました。そしてくまがい市長も千葉市議会と伴に取り組んでまいりました。その後、中央区民を対象とした、環境省の説明会において、丁度そのころ、東京オリンピック会場の建設費が2倍以上の2,600億円以上になることが報道され、国民の声に安倍総理は白紙撤回としました。中央

区民の皆さんの指定廃棄物の最終処分について千葉県全部の廃棄物を中央区に埋める事に「白紙撤回」は当然。

更に、千葉市内に1,200か所近くある**町内自治会連絡協議会**も、環境に対し、要望書を提出しました。内容は、1、選定基準(環境省のホームページに掲載)があいまいなので、はっきりさせて欲しい。2、市民の声をよく聞くように。との内容と伺っています。市長・議会・市連協が一体となり取り組んでいるのは千葉市以外にありません。賛成・反対が拮抗しているとはわけが違います。安倍総理とその下で働いている環境省は千葉市民の声を反映していただきたい。

尚、**くまがい市長**におかれましては、環境省に対し「千葉市中央区蘇我町に埋め立て処分する事の説明はしないでいただきたい。埋め立て処分場を建設するための土質調査はしないでいただきたい。」旨の申し入れを環境省に。

更に**我が会派も盛り上がっています**。中央区選出議員は質問で「4年も経つと濃度も薄まって指定廃棄物から外れるのでは。濃度を計るべき。」との一般質問も。**現在千葉市の廃棄物は新港清掃工場に保管。**

千葉市内での指定廃棄物処分場建設候補地選定について再協議を求める決議

国は、本年4月24日に本市及び県に対し、東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所事故の影響によって県内で発生した汚染焼却灰など高濃度の放射性物質が含まれた指定廃棄物の処分場建設の候補地として千葉市中央区にある東京電力敷地内を正式に選定したことを伝えた。

本市議会は、未来の千葉市と千葉市の子どもたちのために、以下の理由により、**それぞれの排出自治体内での保管を行うための再協議を強く求めるものである。**

- 1、本市で今後、約30年以内に震度6弱以上の地震が高い確率で起こることの研究結果があり、発生時には液状化現象や津波により、処分場が破損し、水質や大気が放射性物質により汚染される被害が発生する恐れがある事。
 - 2、候補地は、住宅地に隣接した場所に位置しており、住民の感情として受け入れられるのではなく、地震被害を初めとした災害発生時には多くの住民に影響が生ずる事。
 - 3、風評被害により、農水産業への影響、人口の減少、地価の下落などの恐れがある事。
 - 4、本市においては、海辺を生かしたまちづくりを推進しているところであり、候補地はその中心となる地域に近接しており、大きなダメージを与えるおそれがある。選定手法において観光等に資する地域は除外すべきであると考える。
 - 5、候補地選定の過程が不透明であり、市民に正確な情報公開がなされていない。***千葉県詳細調査候補総合評価は環境省のホームページから見て下さい。**
- 以上、決議する。平成27年6月8日 提出先 環境大臣 千葉市議会

***国政でいち早く取り組んできたのは、民主党の田島要衆議員・奥野総一郎衆議員です。**

◎毎日新聞 2015年10月07日 朝刊4面 朝刊後:1/1 <1/1枚>
指定廃棄物処分場調査また見合わせ

指定廃棄物処分場調査また見合わせ

東京電力福島第1原発事故の放射性物質を含む指定廃棄物の処分場建設を巡り、環境省は6日、宮城県加美町(かみまち)にある建設候補地の詳細調査に入ろうとしたが、抗議する住民らに候補地へ通じる林道の入り口をふさがれ、またも調査を見合わせた。

環境省が調査を見合わせたのは6回目だが、7日も現地入りする意向を町に伝えた。

6日の抗議活動に加わった猪股洋文町長は「町は(9月の関東・東北)豪雨で被害を受け復旧に取り組んでいる。なぜこの時期に入るのか」などと反発した。同省東北地方環境事務所(東北)の栗原・保会統括官は「残念だ。雪は11月下旬だと懸念するので、まだ(調査をする)時間はあるだろう」と語った。

環境省が電力千葉火力発電所(中央区蘇我町)を選定した問題で、市議会と市が6月に選定地に東京定の再協議意向を申し入

待った。環境省の処分場候補地は「白紙」で、市議会も「白紙」で返答した。市議会側は「選定は国に任せてほしい」とし、あくまで同省の出方を待つ姿勢を強調した。